

南本宿公園（分区園に限る）、南本宿第三公園、師岡町梅の丘公園 令和 5 年度 事業報告書
（事業報告書様式 1）

1 施設概要（※維持管理水準書 1 ページや個別仕様書などを参考に記入してください）

公園名	・師岡町梅の丘公園	・南本宿公園分区園	・南本宿第三公園
所在地	・港北区師岡町 511-3	・旭区南本宿 37-4	・旭区南本宿町 81 番 3
公園面積、公園種別	・10,250 m ² 近隣公園	・約 2,572 m ² 地区公園	・4,356 m ² 街区公園
主な施設	・師岡町梅の丘公園 個人分区園、団体分区園、協働農園、竹林、倉庫、多目的トイレ、エントランス広場、草地広場、ベンチ、樹林地 ・南本宿公園分区園 個人分区園、倉庫、トイレ、堆肥場、ベンチ、野外卓 ・南本宿第三公園 個人分区園、倉庫、竹林、ベンチ		
特徴	・師岡町梅の丘公園 13 m²×46 区画（有料施設、個人用分区園） 50 m²×3 区画（有料施設、団体用分区園） 150 m²（協働農園） 個人・団体分区園のほかに、指定管理者がイベントなどで、地域住民に一時的な農業体験を提供する場となっている協働農園があります。谷戸地形で周辺には竹林が広がっています。 ・南本宿公園分区園 50 m²×6 区画（有料施設、個人用分区園） 30 m²×33 区画（有料施設、個人用分区園） 緑豊かな丘の斜面にある南本宿公園内にある分区園です。 ・南本宿第三公園 9 m²×10 区画、10 m²×4 区画、11 m²×6 区画（有料施設、個人用分区園） 公園内には個人用分区園の他に、竹林を活かした自然体感ゾーンを設置しています。		
公園開園日	師岡町梅の丘公園：平成 27 年 4 月 1 日 南本宿公園分区園：平成 1 年 3 月 25 日 南本宿第三公園：平成 25 年 4 月 1 日		

2 指定管理者概要

指定管理者名	横浜植木株式会社
代表者名	代表取締役 伊藤 智司
所在地	横浜市南区唐沢 1 5
指定管理期間	令和 5 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日
現指定管理者管理運営開始日	師岡町梅の丘公園：平成 27 年 4 月 1 日～ 南本宿第三公園：平成 25 年 4 月 1 日～

（事業報告書様式 2）

1 管理運営体制（事業計画書様式 2）の報告

（1）管理運営体制 当公園の特性、運営方針にふさわしい施設長及び副施設長を配置するとともに、現指定管理者としての管理実績に基づく適切な職員の業務分担の運営体制により運営しました。 （2）勤務体制 平日 1 日、土日祝 1 日の週 2 日専任担当職員による巡視点検や、園地除草等維持管理作業、収穫体験、栽培相談などの利用者サービス対応を行い、連絡員を登用して職員不在時でもいち早く公園の状況を把握できるようにし、目の行き届いた管理運営を行いました。 時間外の連絡体制・対応は、コールセンターを設け 365 日 24 時間連絡を受付可能にし、二次対応を管理運営責任者、本部担当職員が行いました。また専任担当職員については、可能な限り勤務地公園近隣に居住する者を配置し、不測の事態にも早期対応ができるような体制を構築しました。

2 利用促進・市民協働等（事業計画書様式3）の報告

市民サービス向上・利用促進の取組み

利用者からの声は、公園を良くしていく大事な機会として捉え、管理運営に反映しました。また、徒歩圏内に居住する方への農の普及を目的に設置されている公園のため、分区園利用そのものが市民参加の形となっており、分区園エリアの自主管理指導や、協働農園でのボランティア、地域連絡員、耕作サポーターなど、市民と一緒に公園の管理運営を進めていく仕組みづくりをしました。

農園付公園を管理するに当たり、利用者にとって安全安心な公園づくりを行う為、利用者連絡員や地域サポーター、地域清掃スタッフを配置する体制を取り、運営体制そのものが市民協働かつ地域人材育成になっています。世代間交流や地域コミュニティの形成促進の機会を積極的につくり、当公園ならではの市民協働を展開し、公園全体の賑わいの創出、地域の方々からの要望、イベント開催等、市民主体の活動をつくりました。

3 維持管理（事業計画書様式4）の報告

誰もが安全安心、清潔快適に利用していただけるよう高品質の維持管理を行いました。維持管理の手法は横浜市策定「維持保全の手引き（建築局作成）」、「公園施設点検マニュアル（環境創造局作成）」、「維持管理水準書（環境創造局作成）」等に基づき、施設年間管理表、植物年間作業計画表を作成し、安全の確保・美観の維持・施設の長寿命化・環境保全に配慮した維持管理に取り組みました。公園という場所柄一般利用者に見られる場所なので、利用者との協働で「魅せる分区園づくり」を行いました。

（事業計画書様式3）

1 令和5年度利用料金収入実績

日 時	内 容 (分区園利用料金)	内 訳	利用料金収入 計
2月1日～ 3月31日	南本宿第三公園	9 m ² 区画×10 区画@13,500 10 m ² 区画×4 区画@15,000 11 m ² 区画×5 区画@16,500	277,500 円
2月1日～ 3月31日	南本宿公園分区園	50 m ² ×5 区画@45,000 30 m ² ×30 区画@27,000	1,035,000 円
2月1日～ 3月31日	師岡町梅の丘公園	13 m ² ×44 区画（個人）@19,500 50 m ² ×1 区画（団体）@75,000 25 m ² ×1 区画（団体分割）@37,500 20 m ² ×1 区画（団体分割）@30,000 13 m ² ×3 区画（団体分割）@19,500	1,083,000 円
4月1日～ 5月31日	南本宿公園分区園	30 m ² （27,000 円）×3 区画（4月分免除）	74,250 円
5月7日	師岡町梅の丘公園	13 m ² （19,500 円）×1 区画（4～11月分免除）	17,875 円
合計金額			2,487,625 円

令和5年度公園施設及び有料施設利用回数・稼働率

公園名	月	利用区画数	稼働率
師岡町梅の丘公園	4月～3月	51/52	98%
	5月～3月	52/52	100%
南本宿第三公園	4月～3月	20/20	100%
南本宿公園分区園	4月～3月	35/39	90%
	5月～3月	37/39	95%

南本宿公園（分区園に限る）、南本宿第三公園、師岡町梅の丘公園 令和 5 年度 事業報告書

令和 5 年度公園利用状況

●南本宿公園分区園は、上記稼働率のとおりです。

●南本宿第三公園

●師岡町梅の丘公園

月別	利用人数	備考	月別	利用人数	備考
4 月	53 名	タケノコ掘り	4 月	—	オープンガーデン
5 月	—		5 月	210 名	オープンガーデン、植付イベント 210 名
6 月	13 名	収穫イベント 13 名	6 月	250 名	収穫イベント 250 名
7 月	—		7 月	2 名	七夕用竹配布 2 名
9 月	—		9 月	8 名	種まき体験 8 名
10 月	—		10 月	160 名以上	収穫イベント 8 名、音楽祭 150 名以上、たねダンゴイベント 6 名
11 月	14 名	収穫イベント 14 名	11 月	250 名	収穫イベント 250 名、植付イベント 31 名
12 月	5 名	ミニ門松作り	12 月	11 名	収穫イベント 11 名
2 月	18 名	作付け講習会	2 月	44 名	作付け講習会
3 月	—		3 月	32 名	植付イベント 32 名

令和 5 年度修繕実績

修繕年月日	修繕箇所	金額	委託業者名または直営かの記載	対応状況
4 月 5 日	南本宿第三公園 竹林部園路	3,200 円	直営	不陸修繕
4 月 5 日	南本宿公園 分区園	2,500 円	〃	区画分割ロープ修繕
4 月 8 日	南本宿第三公園 竹林部園路	2,200 円	〃	不陸修繕
4 月 8 日	師岡町梅の丘公園 樹林地	30,750 円	〃	ロープ柵交換
4 月 13 日	南本宿第三公園 竹林部園路	2,200 円	〃	不陸修繕
4 月 26 日	〃	32,000 円	〃	不陸修繕
5 月 10 日	師岡町梅の丘公園 草地広場	2,200 円	〃	水飲み場修繕
5 月 31 日	師岡町梅の丘公園 管理棟屋上	8,750 円	〃	屋上フェンス修繕
6 月 17 日	師岡町梅の丘公園 管理棟裏	63,250 円	柴田工務店	水道管修繕
8 月 5 日	南本宿第三公園 語らいテラス	2,000 円	直営	手摺修繕
8 月 17 日	師岡町梅の丘公園 管理棟屋上	10,000 円	〃	転落防止柵修繕
9 月 2 日	南本宿第三公園 竹林部	7,000 円	〃	手摺修繕
9 月 7 日	師岡町梅の丘公園 樹林地	50,000 円	植弘	階段修繕
〃	師岡町梅の丘公園 草地広場	30,000 円	〃	アベリア補植
9 月 21 日、22 日	南本宿第三公園 竹林部	85,000 円	〃	階段舗装・不陸修繕
10 月 28 日	師岡町梅の丘公園 利用者倉庫	3,000 円	直営	ランプ交換
1 月 19 日	南本宿第三公園 分区園	78,000 円	平岡電機	外灯電球交換
2 月 3 日	南本宿第三公園 語らいテラス	4,000 円	直営	転落防止柵修繕
2 月 22 日	南本宿交換 分区園	4,000 円	〃	擬木柵修繕
2 月 20 日、29 日	南本宿第三公園 竹林部	143,000 円	植弘	土留め修繕
3 月 2 日	師岡町梅の丘公園 多目的トイレ	77,000 円	メイク	ベビーシート交換
3 月 9 日	師岡町梅の丘公園	78,000 円	舟岡景観施設	既設野外卓修繕
合計		718,050 円		

南本宿公園（分区園に限る）、南本宿第三公園、師岡町梅の丘公園 令和 5 年度 事業報告書

（事業報告書様式 5）

令和 5 年度増減備品一覧

品名	形状・その他	単価 (円)	購入		廃棄		増減理由
			数量	年月日	数量	年月日	
なし							

（事業報告書様式 6）

苦情対応報告

	年月日	公園	内容	対応結果
1	5 月 6 日	師岡町梅の丘公園	利用者が畑の脇に乗り入れ駐輪しているとの報告	公園内駐車場に移動するよう注意しました。
2	5 月 10 日	師岡町梅の丘公園	利用者倉庫内で異臭がするとの連絡	該当者に注意しました。
3	5 月 31 日	師岡町梅の丘公園	元利用者が、電気やすりを使用しているとの連絡	該当団体の代表者に厳重注意を行いました。
4	7 月 8 月	師岡町梅の丘公園	ホースを使って畑に直接水やりをしたいとの要望	公平公正の観点から、ホースから直接の水やりは許可できない旨をお伝えしました。
6	8 月 17 日	師岡町梅の丘公園	隣の利用者の畑から作物が越境しているとの連絡	該当の利用者に除去を行うようお願いしました。
7	9 月 28 日	師岡町梅の丘公園	分区園利用者の利用マナーに関する苦情の手紙	掲示物の貼り付けを行いました。
8	11 月 28 日、 29 日	南本宿公園分区園	農具舎改修工事に関する苦情・要望	担当社員が回答し、納得して頂きました。
9	12 月 6 日、 27 日	師岡町梅の丘公園	近隣住民の方からボール遊びを禁止してほしいとの広聴が寄せられました。	市から、近隣の小学校に利用マナーについて指導して頂くようお願い頂きました。掲示物、プランターを設置しました。

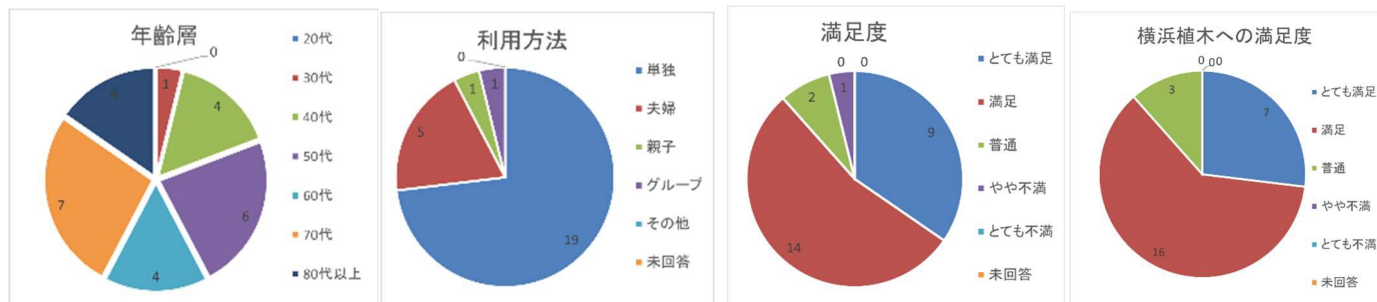
事故対応報告

	年月日	内容及び被害	対応結果
1	1 月 12 日	師岡町梅の丘公園で多目的トイレのおむつ交換台が焦がされているのを発見しました。	港北警察署に通報の上現場検証を行いました。パトロール回数を増やしてもらうよう依頼しました。また、火気厳禁の掲示物を貼付けました。
2	1 月 14 日	師岡町梅の丘公園で中学生が、多目的トイレのガラスを割り、ものを燃やしているとの通報がありました。	弊社の担当社員と警察立ち合いのもと、現場検証を行いました。現場検証時に加害者の中学生 4 名が来園したため、警察署に連行しました。

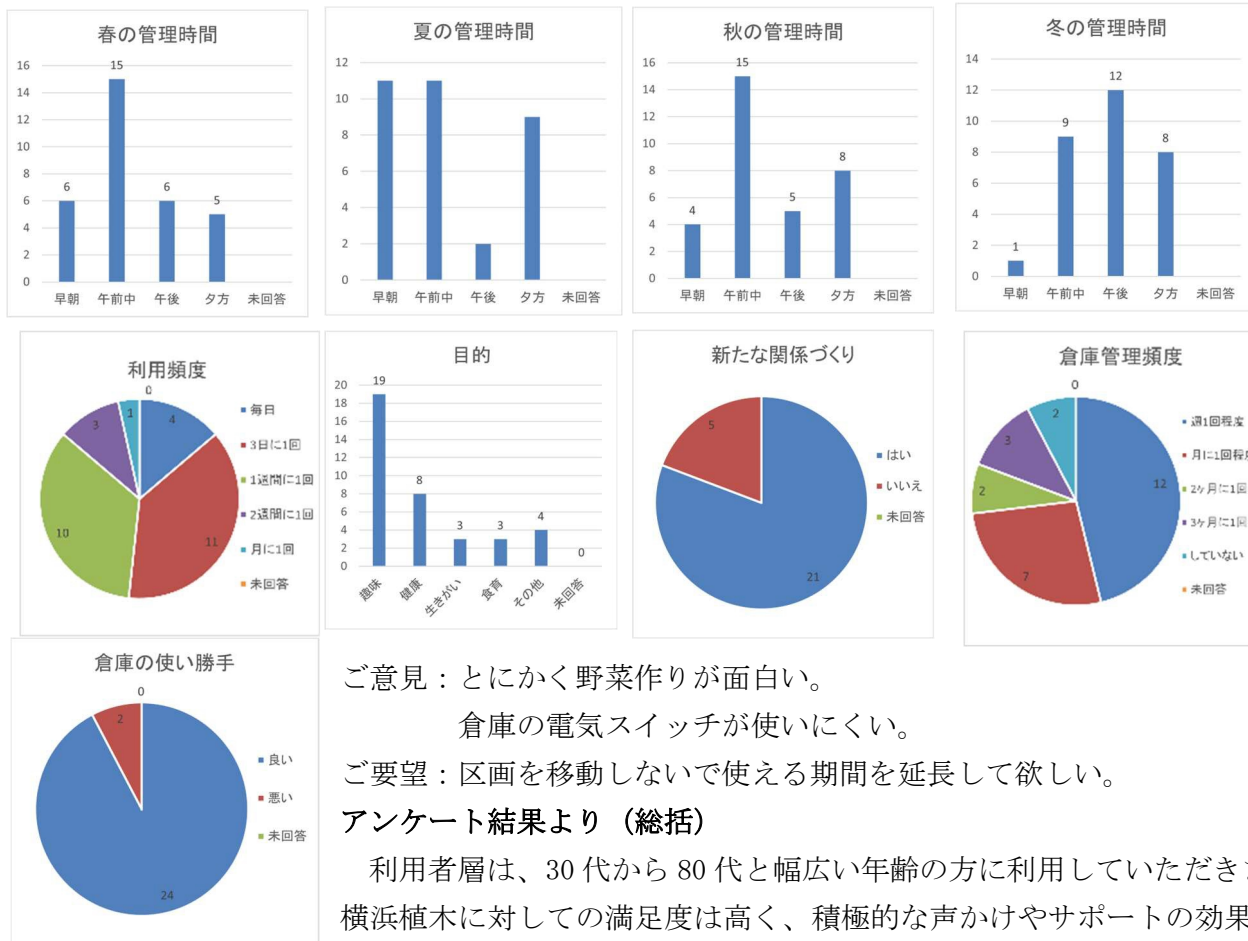
（事業報告書様式 7）

利用者アンケート結果

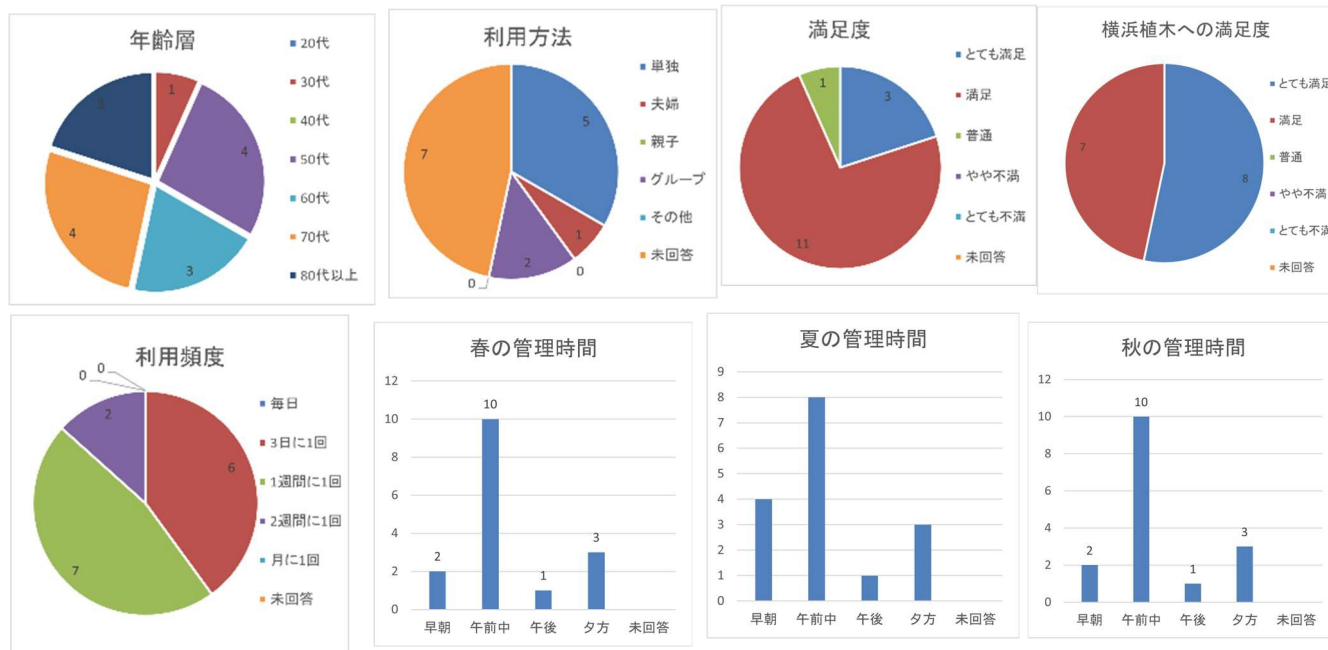
南本宿公園分区園（全 26 枚）



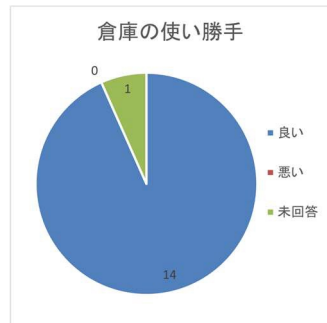
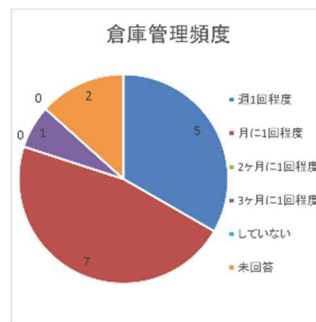
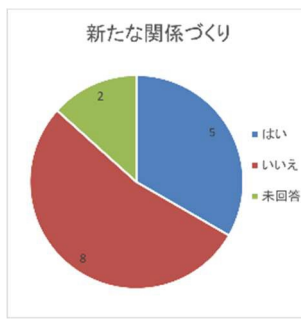
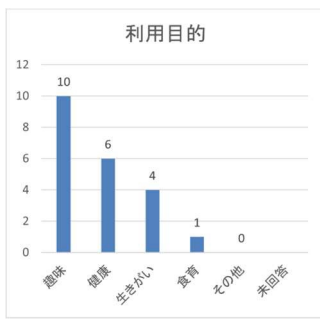
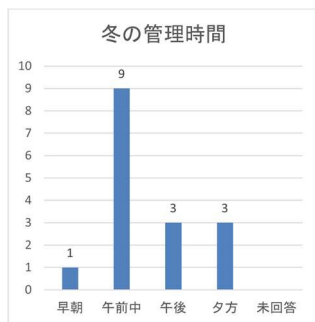
南本宿公園（分区園に限る）、南本宿第三公園、師岡町梅の丘公園 令和5年度 事業報告書



南本宿第三公園（全15枚）



南本宿公園（分区園に限る）、南本宿第三公園、師岡町梅の丘公園 令和5年度 事業報告書



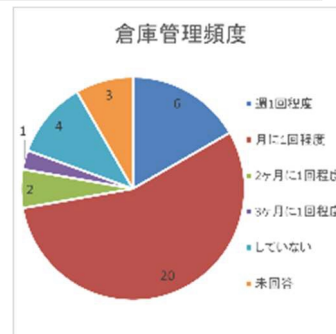
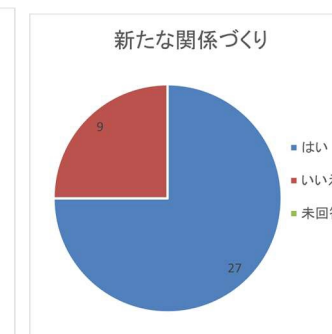
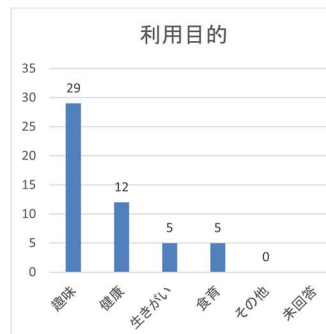
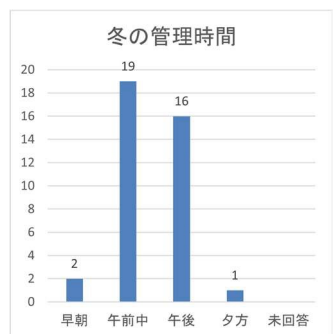
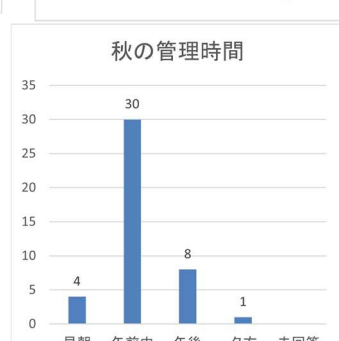
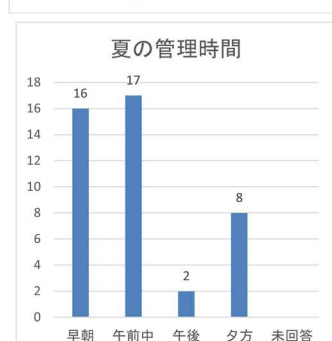
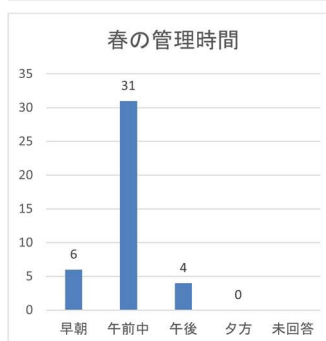
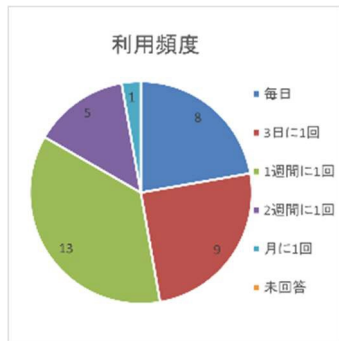
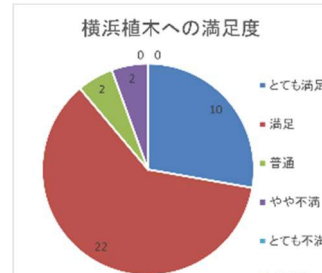
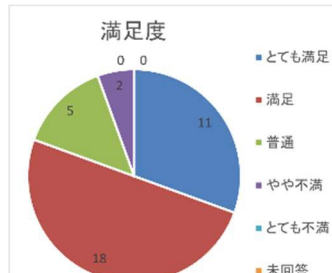
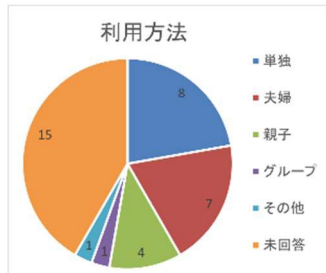
ご意見：野菜を沢山収穫でき、とても楽しかった。

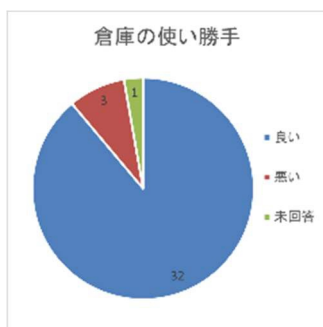
ご要望：貸出し農具の数を増やしてほしい。

アンケート結果より（総括）

利用者層は、30代から80代と幅広い年齢の方に利用していただきました。横浜植木に対しての満足度は高く、積極的な声かけやサポートの効果だと考えられます。今後も高い満足度を維持していけるよう努めます。

師岡町梅の丘公園分区園（全36枚）





ご意見：子どもが野菜をよく食べるようになった。

ご要望：残渣回収を土日にも実施して欲しい。

アンケート結果より（総括）

利用者層は、40代から70代の年齢の方に利用していただきました。横浜植木に対しての満足度は高く、積極的な声かけやサポートの効果だと考えられます。マナー違反の利用者に対して、他の利用者から不満が出ていたため、改めて利用規約を説明し、是正のお願いと指導を行いました。

（事業報告書様式8）

研修実施報告

	実施日	研修名	参加人数	内容及び効果
1	4月～3月	安全研修	6名	公園業務において重要なスキルを身に着けました。
2	4月～12月 月1回開催	植栽管理技術研修 (野菜作り)	6名	栽培相談員を講師に園地管理技術の向上を目的に野菜の育て方や土作り等について学びました。
3	9月～1月	農業研修	6名	職員の栽培技術の向上の為農業について学びました。
4	11月22日	個人情報保護研修	6名	個人情報保護の注意すべきポイントを学びました。

（事業報告書様式9）

自主事業実施報告

事業名	目的・内容	参加人数	実施時期
公園野菜の美味しいレシピの提案	旬の野菜を簡単に調理できるレシピの配布等を行い、食べるところまでサポートを行う。	—	通年
面白ヒョウタンで緑のカーテン設置	通常きゅうりやへちまのグリーンカーテンをひょうたんで行う。	—	6月
公園名入りプレート等で花修景	公園名入りオリジナルのプランター等を設置し公園の一体感を演出し、公園に彩りを増やす。	—	通年
レイズドベットの設置	全ての人がガーデニングを楽しめるようにしたフラワーベッドで、車いすの方にも植物に触れてもらう機会を作る。	—	通年
花いっぱい活動	一年を通して常に季節の花を楽しめる空間づくりをし、来園者のおもてなしをする。	—	通年
公園にメッセージ活動	師岡小学校の子供たちに協力して頂き、掲示板に公園を利用するにあたっての注意書き等、メッセージを書いてもらう。	—	通年
雨水タンク設置	利用者の利便性向上の為、職員手作りの雨水タンクを設置する。	—	通年
園芸本の設置	利用者の菜園活動サポートのため、園芸本のコーナーを設置。	—	通年
菜園生活ガイドブック	初めて野菜作りをする利用者が、野菜作りの基礎についていつでも確かめられることを目的に実施。	—	通年
作付け講習会	新年度が始まる前に、栽培相談員が土作りや作付け計画等についての講義を行う。	62名	2月 3月
栽培相談日	栽培相談を定期的に行うことで、初心者でも安心して菜園生活を送る事ができる。	244名	4月～ 12月
栽培相談ノート	栽培相談日に来られない利用者のサポートを目的に倉庫内へ設置。	—	通年

南本宿公園（分区園に限る）、南本宿第三公園、師岡町梅の丘公園 令和5年度 事業報告書

土壌の酸度測定	野菜作りの基本である土の酸性度について、無料で測定を行うサービス。肥料等の目安や土に合った野菜選びのヒントになる。	—	通年
お片付けサポート	堆肥置場を閉鎖した代わりに、分区園から出た野菜ゴミを回収し、堆肥としてリサイクルする。（師岡町梅の丘公園）	—	通年
資材の無料提供	これまでの経験から「（マルチング材や手作り木酢液など）少しだけ欲しい」という分区園利用者の声を踏まえ設置する。	—	通年
農機具の無料レンタル	2年間の利用で購入を躊躇ってしまうような物品（スコップ、鍬、鋤）など自主管理を促す物の貸し出しを無料で行う。	—	通年
利用者オリジナル区画看板づくり	「魅せる分区園づくり」の一環として利用者に書いてもらい、利用者が明確になることでいたずら防止に繋がる。	—	通年
温度計・湿度計 熱中症指数計設置	職員が巡視日に猛暑であれば休憩を呼び掛ける目安にもなる為、熱中症対策として設置する。	—	7月～ 9月
夜間パトロール	町内会と一緒に夜間パトロールを行い、日々公園の安全性を向上させる。（師岡町梅の丘公園）	—	9月
ミュージック フェスティバル	地域の活動団体と協力し、公園内で皆さんに親しまれている曲の演奏会を行う。（師岡町梅の丘公園）	150名	10月
港北区オープン ガーデン参加	港北区役所主催の港北区オープンガーデンに参加し、公園の知名度向上を図る。（師岡町梅の丘公園）	—	4月 5月
たねダンゴ®を植 えよう	様々な草花の種をたねダンゴ®にして園内に植付けました。	6名	10月
タケノコ掘り イベント	南本宿第三公園のタケノコは、地域の方が毎年楽しみにしている当公園最大のイベント。	53名	4月
七夕の笹配布	七夕を家庭でも楽しんでもらいたいため、公園の青竹（笹）を配布する。	3名	7月
七夕飾り	七夕を子ども達に楽しんでもらうため、竹林部の竹に直接飾りつけをする。（南本宿第三公園）	3名	7月
タケの再利用	竹林部の竹を利用して各公園で門松を作製・展示する。 （南本宿第三公園）	—	12月
収穫体験	分区園利用者以外にも農と触れ合ってもらうことを目的に実施。協働農園で育てた野菜を近隣住民とともに収穫（無料）する。	—	通年
耕運サービス	菜園活動でもっとも重要な土作りをお手伝いするため、年に1回3月に無料で全ての区画を耕運する。	—	通年
3公園共同イベン ト	各公園の活動紹介新聞の発行を行う。共通の新聞を発行することで、他公園の存在を知ってもらえる。	—	1月 3月

有料事業実施報告一覧（自主事業含む）

事業名	事業内容・実施結果	参加 人数	実施日	自主事業決算額	
				自主事業 費(円)	自主事業 収入(円)
1袋ごとの堆肥販売	堆肥等を現地で販売しました。	—	通年	101,400円	101,400円
苗・種の販売サービス	当団体開発の種を販売しました。	—	通年	12,000円	12,000円
植付・収穫イベント （有料）	協働農園で野菜の植付や収穫イベントを開催しました。	605名	通年	43,600円	43,600円
竹を使った工作教室	間伐材でミニ門松作りを行いました。（南本宿第三公園）	5名	12/27	2,500円	2,500円
分区園の耕運について	希望者の畑の耕運を行いました。	12名	通年	12,000円	12,000円
合計				171,500円	171,500円

南本宿公園（分区園に限る）、南本宿第三公園、師岡町梅の丘公園 令和5年度 事業報告書

（事業報告書様式10）

業務の第三者委託実績

●南本宿公園分区園、南本宿第三公園業務の第三者委託実績

業務	内容	委託会社	金額（円）	年回数	実施月
植栽管理	草刈工・剪定工	(株)赤坂造園	390,350 円	随時	4～10 月
植栽管理	草刈工・剪定工・土工	植弘	159,089 円	随時	通年
電気設備点検	電気設備保守点検・ランプ交換	(株)平岡電機	70,000 円	1 回	9 月
施設管理	廃棄物処分	リサイクルプラント	34,543 円	随時	通年
施設管理	廃棄物処分	リテック	130,000 円	随時	通年
コールセンター	夜間・緊急時・年末年始対応	京浜警備保障(株)	33,000 円	時間外	通年

●師岡町梅の丘公園

業務	内容	委託会社	金額（円）	年回数	実施月
植栽管理	草刈工・剪定工	(有)鈴風園	1,206,500 円	随時	4～10 月
植栽管理	剪定工・土工	植弘	68,181 円	随時	通年
竹林管理	伐竹	田口園芸(株)	454,000 円	1 回	1 月
電気設備点検	電気設備保守点検	(株)平岡電機	60,000 円	回	9 月
施設管理	廃棄物処分	リテック	40,000 円	随時	通年
コールセンター	夜間・緊急時・年末年始対応	京浜警備保障(株)	33,000 円	時間外	通年

（事業報告書様式11）

収支予算書（指定管理事業のみ）

（単位：円）

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	14,502,482 175,000		14,502,482 175,000	14,502,482 175,000	0 0	賃金スライド反映
利用料金収入	2,577,000		2,577,000	2,487,625	89,375	南本宿分区園のみ 900 円/㎡
自主事業収入	126,000		126,000	171,500	-45,500	
横浜市による運営支援	0	422,403	422,403	422,403	0	物価高騰に伴う指定管理施設 運営支援
雑入	0		0	0	0	
その他雑入	0		0	0	0	
収入合計 (a)	17,380,482		17,802,885	17,759,010	43,875	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	7,236,604		7,236,604	10,216,723	-2,980,119	
給与・賃金	6,015,000		6,015,000	8,850,686	-2,835,686	
社会保険料	832,604		832,604	1,138,410	-305,806	
通勤手当	350,000		350,000	185,627	164,373	
福利厚生費	39,000		39,000	42,000	-3,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
事務費	2,913,403		2,913,403	1,727,450	1,185,953	
旅費	162,000		162,000	120,810	41,190	
消耗品費	1,237,403		1,237,403	800,900	436,503	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	0		0	0	0	
通信運搬費	60,000		60,000	58,000	2,000	説明会切手代等
使用料及び賃借料	0		0	0	0	
（横浜市への支払い分）	0		0	0	0	
（その他）	0		0	0	0	
備品購入費	820,000		820,000	420,000	400,000	
保険料	53,000		53,000	56,740	-3,740	見積額

南本宿公園（分区園に限る）、南本宿第三公園、師岡町梅の丘公園 令和 5 年度 事業報告書

振込手数料	1,000	1,000	1,000	0	
リース料	480,000	480,000	270,000	210,000	
手数料	0	0	0	0	
その他事務費	100,000	100,000	0	100,000	
自主事業費	126,00	126,000	171,500	-45,500	
管理費	5,874,475	5,874,475	4,407,494	1,466,981	
光熱水費合計	440,000	440,000	488,594	-48,594	市提案額
光熱水費（電気）	270,000	270,000	276,963	-6,963	
光熱水費（ガス）	0	0	0	0	
光熱水費（水道）	170,000	170,000	211,631	-41,631	
光熱水費（下水道）	0	0	0	0	
清掃費	564,000	564,000	227,000	337,000	
修繕費	653,400	653,400	718,050	-64,650	提案書額
機械警備費	322,600	322,600	33,000	289,600	
公園及び公園施設設備保全費	3,894,475	3,894,475	2,940,850	953,625	
施設（建物）・設備保守	244,475	244,475	130,000	114,475	電気設備点検
園地管理費	3,650,000	3,650,000	2,810,850	839,150	草刈 180 万円、樹木剪定 90 万円、伐竹 45 万円、廃棄物処分 50 万円
その他保全費	0	0	0	0	
公租公課	0	0	0	0	
公租公課（事業所税）	0	0	0	0	
公租公課（消費税）	0	0	0	0	
その他公租公課	0	0	0	0	
事務経費（本部分）	1,050,000	1,050,000	1,050,340	-340	本部社員人件費
雑費	180,000	180,000	181,000	-1000	職員研修費、利用者連絡員通信費など
支出合計（b）	17,380,482	17,380,482	17,754,507	-374,025	
差引（a－b）	0	0	4,503	-4,503	

（参考）指定管理事業外の収支

設置管理許可収入合計（c）	100,000	100,000	136,351	-36,351	自動販売機
設置管理許可支出合計（d）	42,520	42,520	39,040	3,480	
差引（c－d）	57,480	57,480	97,311	-39,831	

今年度の収支報告

- ・花修景で使用する球根・花卉類は当団体の取扱い商品を使い、珍しい種類でありながら定価以下の価格で調達しました。咲き終わった球根は利用者へ無料で配布する等創意工夫で利用者満足度を向上しました。
- ・業務の繁忙に応じて効率的に人員を配置しました。（草刈シーズン、樹木剪定時など）
- ・地域人材の育成、地域協働の推進という観点からパートタイマーは積極的に地元雇用を図りました。
- ・コスト意識を持ち指定管理料縮減に努めました。直営作業を基本とし、委託費縮減に努めました。

（事業報告書様式12）

運営目標・実績報告【自己評価 ◎：特筆すべき取組がある ○：達成している △：改善を要する】

項 目	計画時の取組み内容及び具体的な数値目標	実績	指定 管理 者評 価 (◎・ ○・ △)	改善点等 今後の取組
業務運営1 (事業計画 書様式2： 運營業務の 実施計画・ 取組)	2公園1分区園の個人区画を埋めて100%稼働させ、公平公正・決め細やかなサービス提供を心掛け、利用者満足度の向上を目指します。 施設の長寿命化のため、日頃の巡視点検時から配慮し、修繕箇所が悪化しないうちに早期発見・早期対応を心掛け、人と人を繋ぐコミュニティ形成の場となっていくように良好な自然環境と景観の維持に努めます。	師岡町梅の丘公園分区園（個人・団体区画）利用率100%。南本宿公園分区園（50㎡）利用率83%・（30㎡）利用率97%。南本宿第三公園分区園利用率100%。 南本宿公園分区園の利用率は未だ100%に満たないため、今後も広報活動が必要です。 施設関係は、巡視日以外にも公園に赴きチェックを行い、施設点検を行いました。	△	南本宿公園分区園は区画（個人区画・団体区画）を100%稼働させるため、掲示・ポスティング・HP・来園者への声掛けなど、分区園の広報活動に努めます。 ポスターなどは掲示場所を増やし、目に留まりやすくします。 また、施設関係についても、巡視日以外でも公園に赴き、不具合等発見時には迅速に対応します。
業務運営2 (事業計画 書様式2： 管理運営体 制、人員の 配置と研修 計画)	・緊急時に対応できる柔軟な配置 施設長1名 副施設長2名 運営スタッフ（正規）5名 運営スタッフ（非正規）3名以上 防災訓練の実施等を徹底します。 ・「利用者満足度向上」や「継続的利用」につながる体系的な研修（様式2(4)研修計画のとおり）と自己啓発環境の整備し、信頼性、安心感、清潔感、共感力、迅速さを養う研修を実施します。	左記人員通りに配置しました。 また常に本部職員が待機し、防災・災害対応に備えました。 公園での防災訓練は実施出来ませんでした。草刈・除草や樹木管理の際の安全研修を毎月開催し、作業に対する安全意識の向上を図りました。また、農業研修を実施し、農業に関する知識のレベルアップを図りました。	○	複数の職員が運営に関わっていくことで、誰にとっても安心安全な公園運営に努めます。 農園付き公園の職員として必要な能力（安全・お客様目線で考え、行動できる）を身に付けられる研修を行います。
業務運営3 (事業計画 書様式3： 利用者サー ビスの向上・ 利用促進策)	分区園を借りていない人にも農の普及を行うため、多くの農体験を実施し（収穫体験延べ100人）、長く収穫を楽しめる野菜を植え、1人でも多くの方が農と触れ合う機会を作ります。 利用者がより楽しく快適に過ごせる公園づくりを行うことで、積極的かつ迅速な対応で公園の魅力アップに努めます。	イベントと収穫体験では、利用者以外の来園者に広く参加して頂いたほか、近隣の小学校や保育園の児童と園児を招き、実施しました。（延べ570名） 無料配布では、園内で栽培した野菜を広く配布し、採りたての野菜の美味しさを周知しました。	◎	次年度も分区園利用者以外の方の協働農園への来園者を増やすために、気軽に参加できる収穫・植付け体験を開催します。また、イベント参加者の満足度向上のために、アンケートの記入をお願いするとともに、内容を職員に共有し、開催内容の改善を行います。

業務運営4 (事業計画書様式3：広報・プロモーションの取組)	SNSを毎月1回以上の更新を行うなど、来園者に分区園や公園の魅力を知っていただき、「分区園を借りてみたい」と思ってもらえるような広報活動をし、世代間の交流を含めた様々な人たちの輪が広がっていくような広報を積極的に行います。	SNSでは、来園のきっかけとなるような、花木の開花情報などの情報発信を行いました。また、来園者とのコミュニケーションの活性化、分区園利用者のサポートを目的に職員の来園スケジュールを発信しました。また、公園紹介新聞を発行し、各公園のトピックスや分区園の追加募集について発信しました。	○	2公園1分区園は、職員常駐の公園ではないことから、公園の掲示板やHP等は、積極的に更新し、来園者とのコミュニケーションツールとして活用します。
業務運営5 (事業計画書様式3：市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成)	様式3(3)の「具体的な取組み」のとおり、利用者にとって安全安心な公園づくりを行います。また、市民主体の活動をつくり、公園全体の賑わいを創出します。	利用者にとって安全安心な公園づくりを行う為、利用者連絡員や地域サポーター、地域清掃スタッフを配置する体制を取りました。	○	次年度も地域連絡員との連携を行い安心安全な公園づくりを行います。
業務運営6 (事業計画書様式3：地域課題を踏まえた事業提案・地域活性化への貢献)	様式3(4)のとおり、より良い公園にしていくために、こまめな声掛けや、丁寧な管理を心掛け、必要とされるような公園運営を目指します。また、地域活動を活性化させていく場所として、地域コミュニティ活性化に協力し、地域活動を広げていきます。	収穫した野菜などの無料配布の際には、積極的に来園者に声掛けを行いました。公園に来るのが楽しみになるよう、職員全員で、来園者とのコミュニケーションを深めています。	○	次年度も職員が率先して無料配布の案内やイベントへの参加を呼び掛けるなど、地域活動の場として、安心して利用できる公園を目指します。
業務運営7 (事業計画書様式3：本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮)	様式3(8)に掲げたとおり、横浜市のSDGs未来都市計画について、近隣住民や市と連携して環境への配慮・文化創出・防災対策など様々な面に於いて積極的に課題解決に取り組むことで地域コミュニティ活性化に協力し、街と緑の共存を進めることで、人々の社会生活に豊かさや心のゆとりを提供します。また、2027年横浜市上瀬谷で開催される国際園芸博覧会の成功に向けて、横浜市との協力体制を築くとともに、新たに国際園芸博覧会PR花壇を整備します。横浜市が目指す風景創りに足並みを揃え、最先端の緑の技術を活かし、情報発信の拠点となるような花壇とします。	花と緑にあふれる環境先進都市の実現に向けた取組として、将来の農業の担い手を創出することが、農園付き公園の使命の1つであると考えます。各公園で、収穫・植付などの農体験イベントや無料配布を実施し、農業に触れ、興味を持つきっかけを創出しました。また、師岡町梅の丘公園では、港北区主催の港北オープンガーデンに参加し、来園者に花壇を見学して頂きました。	◎	次年度も農体験イベントを開催し、参加を呼びかけます。また、Green×Expo2027(国際園芸博覧会)の開催に向け、写真映えや美しい風景を意識した植栽・管理を行って参ります。花木や草花が開花を迎えた際には、SNSを通じて、職員が積極的に発信を行うことで、地域の方々に周知を行い来園に繋がります。

業務運営 8 (事業計画書様式4：公園の魅力を高める施設保全・管理)	当公園の魅力は、菜園活動や収穫体験ができる場があることです。分区園利用者に向けた栽培相談等の様々なサービスを行うとともに、管理棟・トイレなどの維持管理に努めます、また、様式4(3)に記載した計画表のとおり、施設の長寿命化のため日頃の巡視点検時から施設に配慮し、修繕箇所が悪化しないうちに、早期発見・早期対応を心掛けます。	来年度の分区園利用者向けに作付け講習会、区画の酸度測定を行いました。栽培ノートや農具の貸出しは随時行いました。また、利用者の安全と利便性確保を目的に、巡視日と巡視日以外にも各施設の目視点検を行いました。	○	次年度も栽培相談等のサービスを継続するとともに、各施設の修繕を早期に行い、利用者の安全と利便性を確保します。
業務運営 9 (事業計画書様式4：施設(建物等)、設備の維持管理、修繕計画)	建物(倉庫・トイレ)の施設点検は、週5日(260回/年)行うなど、誰もが安全安心、清潔快適に利用できるよう、質の高い維持管理を行い、人と人を繋ぐコミュニティ形成の場となっていくよう良好な自然環境と景観維持に努めます。	左記のとおり、建物(倉庫・トイレ)の施設点検は、269回行いました。また、誰もが安全安心、清潔快適に利用できるよう、巡視日以外にも公園を訪れ、質の高い維持管理を行いました。	○	誰もが安全安心、清潔快適に利用できるよう、質の高い維持管理を行います。定期的に建物の施設点検を実施し、利用者の満足度を向上させます。
業務運営 10 (事業計画書様式4：樹木、植栽等の管理)	様式4(4)に記載したとおり、利用者への安全配慮の見える化を実施し、裸地や不陸があった場合は、養生、用地の補充を行い、適切な草地管理を行います。また、果樹それぞれの特性を踏まえ、樹種ごとに適切な年間管理計画を立て、実施します。	水準書に則り作業を実施するだけでなく、巡視日以外にも灌水や点検を行いました。各公園、剪定を中心に、果樹や木の管理を行いました。枯れてしまった植栽は、土壌改良を行ったうえで補植しました。	○	次年度も水準書に則った管理作業の実施を徹底し、適切な植栽管理を行います。
業務運営 11 (事業計画書様式4：巡視・清掃)	様式4(5)巡視・清掃のとおり、修繕箇所の早期発見を心がけ、日常巡視を行います。近隣と接している箇所は、落葉清掃を高頻度にし、近隣住民に迷惑がからないように配慮します。また、月1回以上案内板やサインの拭きあげ清掃を行い、汚れで見えないことがないようにし、案内板等の長寿命化に努めます。	園内の状況を見て、草の伸びが早い箇所は他エリアより回数を増やす等、水準書以上の管理となるように心がけました。案内板等の拭き上げ清掃も月一回以上の頻度で実施しました。	○	次年度も日常清掃に力を入れることで、建物や設備の維持管理を徹底し、いつも清潔な状態を保ちます。案内板の傷や落下に対応するため、随時点検を行います。
収支 (事業計画書様式7：収入確保、経費節減策)	利用者サービスを充実させ、自主事業の収益増を目指します。また各施設に関しては、耐用年数表と現場の状況に応じて、修繕計画表を作成し、計画的に修繕を行うことでライフサイクルコスト削減をめざし、長寿命化と美観保持に努めます。	収穫イベントの告知を公園掲示板、HP、口コミなどで行うことで多くの参加者を募ることができました。また、修繕で必要な資材は取引先から安価で購入できる資材を活用し、可能な限り職員が修繕を行いました。	○	自主事業を行う際は、積極的な広報活動を行い、集客や分区園の新規利用者獲得に努めます。また、法面以外の草刈等は直営作業をすることで委託費削減に努めます。